

漁海況月報

平成 17 年 9 月 1 日

No. 9

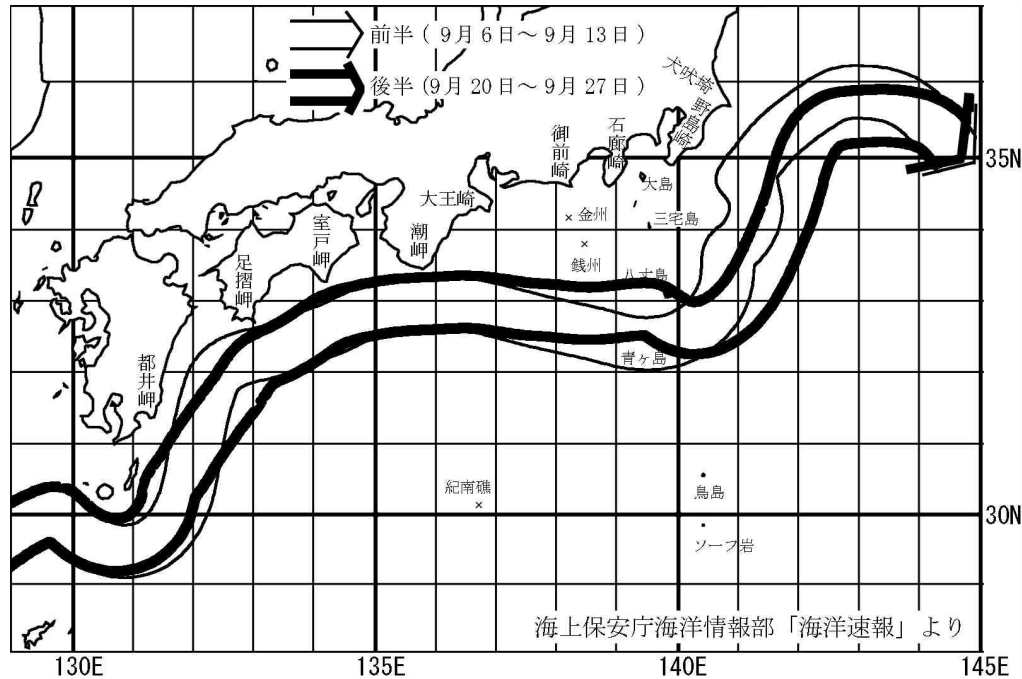
～9月30日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



海上保安庁海洋情報部「海洋速報」より

2005 年 9 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	25.6	24.4	24.3	24.5	24.7	25.2	25.0
	0.8	0.0	-0.3	-1.4	-1.0	-0.2	-0.5
中 旬	24.9	24.4	24.1	24.3	25.6	24.9	24.1
	0.7	0.4	-0.1	-0.8	0.7	0.5	-0.7
下 旬	23.2	23.6	23.1	23.4	22.9	23.5	23.6
	0.1	0.1	-0.3	-0.9	-0.7	0.1	0.0
月平均	24.6	24.1	23.8	24.1	24.3	24.5	24.2
	0.6	0.1	-0.3	-1.0	-0.4	0.1	-0.4

【黒潮流路】

黒潮は、前半には九州東岸から潮岬にかけて接岸気味に流れた後、遠州灘沖を東南東に向かい、伊豆諸島海域の青ヶ島付近を通り 141° E 付近を S 字状に小規模に蛇行して北上し、房総沖を接岸気味に北東へ流れた。

後半には、九州東岸では離岸したが、四国から潮岬にかけては引き続き接岸気味に流れ、その後、遠州灘沖 33° N 付近を東進し、八丈島付近を通り、141~142° E 付近を北上し、房総沖を離岸気味に流れた。小蛇行の東進に伴い遠州灘から伊豆諸島海域では 15~25 マイル接岸し、房総沖では約 40 マイル離岸した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 21~26 台、駿河湾では 22~26 台で経過した。伊豆諸島北部から伊豆半島南部にかけて低水温が分布し、相模湾側の下田及び駿河湾東部では平年よりもやや低めとなった。一方、その他の海域では高め基調の平年並みであった。また、黒潮の接岸変動による沿岸への暖水波及はみられなかった。

【竿釣近海カツオ】

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は63トンで前年同期の137%であった。魚価は222円/kgで、前年同期を下回った。

中型竿釣船の記録(QRY)及び御前崎市場での調査によれば、9月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

36°30'~40°30'N、145°~150°30'Eで小、中、極小、大、チンカツオを、31°~33°N、139°~140°Eで小、極小、中、チンカツオを漁獲した。

小型竿釣り船は銭洲、黒瀬、ハロース、イナンバで体長範囲35~70cm(モード43~48cm)のカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
17 年 9 月上旬	30	5	6.0	246
	22	6	3.7	158
	11	7	1.6	288
17 年 9 月計	63	18	3.5	222
16 年 9 月計	46	17	2.7	263
15 年 9 月計	43	14	3.1	288

【まき網】

小川港では、マイワシは50.2トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:71.8トン)の70%と低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

沼津港では、マイワシは176.5トン水揚され、平年同期(109.3トン)の1.6倍と好調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

静浦港では、マイワシは7.1トン水揚され、平年同期(2.8トン)を大きく上回った。カタクチイ

ワシは水揚げされなかった。

伊東港では、マイワシは12.2トン水揚げされた。カタクチイワシは水揚げされなかった。

[サバ棒受網]

小川港に水揚げされたゴマサバは、前月の水揚量(788トン)をやや上回る832トンであった。漁場は、銭洲、三宅周辺海域を中心に形成され、尾叉長27~32cmの大きさのものが主体に水揚げされた。

1隻当りの漁獲量は29.7トンと昨年同期をやや下回ったものの好調に推移したが、1kg当たりの平均単価は30円となり、先月(27円/kg)に引続き低調であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成17年 上旬	197	2	6	32.8	銭洲
9月 中旬	440	5	16	27.5	銭洲、中ノ瀬
下旬	195	2	6	32.5	三宅、銭洲、中ノ瀬
計	832	9	28	29.7	- - - - -
平成16年9月	1,328	10	40	33.2	利島、新島、高瀬、三宅
平成15年9月	792	7	36	22.0	銭洲

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で550kg、遠州灘で611kgだった。主要6港平均では588kgと前年同期の263%、平年同期(過去5か年平均:276kg)の213%と、前年、平年ともに大きく上回った。9月の総水揚量は1,306.3トンと、前年同期の254%、平年同期(668.8トン)の195%に当り、前年、平年ともに大きく上回った。平均単価は528円/kgと平年同期(819円/kg)を大きく下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	105.4	14	192	549	367
舞 阪	384.1	14	674	570	507
福 田	273.1	13	351	778	550
御前崎	76.4	13	156	490	398
吉 田	240.4	17	442	544	597
静 岡	226.9	17	408	556	581
平成17年9月計	1,306.3	-	2,223	588	528
平成16年9月計	514.0	-	2,300	223	1,165
平成15年9月計	867.5	-	2,907	298	738

[定置網]

平成17年9月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、

谷津)における水揚量は328トンであった。1漁場当たり水揚量41.0トンは前年34.9トンの1.2倍で、平年値(昭和57~平成16年平均値)49.1トンの83.6%であった。

魚種別にみると、サバ類112.7トン(前年の84%、平年の79%) マアジ52.5トン(前年の1.6倍、平年の1.8倍) マルソウダ41.8トン(前年の5.8倍、平年の71%) マイワシ39.0トン(前年の3.5倍、平年の2.5倍) ウルメイワシ21.2トン(前年の2.2倍、平年の3.0倍)の順に多かった。

サバ類は富戸、川奈、北川を中心に入網し、ほとんどがゴマサバであった。尾叉長は28cmにモードがみられた。マアジは谷津、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは15cmの当年生まれの群が中心であったが、尾叉長の中心が32~34cmの大型魚も漁獲されていた。マルソウダは前月までの低水準の漁獲から上向き、川奈、富戸を中心に入網し、尾叉長の中心は25~26cmであった。マイワシは赤石、谷津、富戸を中心に入網し、被鱗体長のモードは14.5cmであり、今年生まれの群と思われた。ウルメイワシは赤石、川奈を中心に入網し、尾叉長の中心は16~17cmであった。

漁場別水揚量は、サバ類、マルソウダの漁獲が多かった富戸(70トン)、川奈(56トン)、サバ類、マイワシ、ウルメイワシの漁獲が多かった赤石(53トン)の順であった。

[調査船の動向]

富 士 丸

~9月23日 東沖カツオ・ピンナガ調査(23日間)

駿 河 丸

9月1~2日 久能沖にてトラフグ試験操業(2日間)

9月9日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(1日間)

9月12~14日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

9月15~16日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(2日間)

9月20日 ペンドック工事のためカナサシ重工へ回航(1日間)